



# きみまち阪県立自然公園

【きみまちけんりつせんとらんと】  
七柱の神々の伝説が残る七座山。風水の理想風景の中、スリチユアルなパークを全身で感じられる場所。

きみまち阪県立自然公園は、秋田県有数の桜、ツツジ、紅葉の名所として知られ、四季にはたくさんの観光客が訪れます。きみまち阪の下には米代川が流れ、対岸には国有林を抱く七座山が鎮座する風水の理に適った絶景となっています。秋田県は、日本三大美林の一つに数えられる秋田杉で知られています。かつては豊富にあった天然秋田杉(樹齢およそ200年以上の杉)も戦中・戦後の乱伐によって大幅に減少し、保護のために平成24年(2012年)をもつて伐採が中止されることになりました。

自然環境は、人間が作る法によって時として破壊され、時として保護されます。七座山は、藩政時代に代官所直營の「御直山」として天然杉などの伐採が禁じられたことで、環境破壊されずに美しく保持されています。人間が作った律法によって、自然が守られているケースの一例です。

秋田県雄勝郡代田二ツ井町丸瀬  
〒0185-739-5075 (二ツ井町観光協会) アラベス: 公共交通機関  
JR 二ツ井駅からタクシーで約5分。車: 「秋田自動車道雄勝代田IC」から約15分、「二ツ井自動車IC」から約7分、「東北自動車道十和田IC」から約1時間10分。



**山達の1 point**

栗山とはパークスボットの前面を守る(護る)山のことで。人の意識が集まりやすい前面というだけあって、多くの象徴的な意味を持っています。古代の風水古典には、実にさまざまな構図の栗山の図版を見出すことができます。



運が先に魔王運峰や牡鹿半島を強む

## 気の性質

「牡鹿」とは大きく立派なものであるという意味です。風水では、このような景色を男性的で力強いと分析します。

心が弱っている人、活力がほしい人、男性的なパークに欠ける人、父性や家庭内での力に欠ける男性に浴びてもらいたいエネルギーに満ちています。

人は、景色を見て、その美しさや景観を判断する過程で気を取り込んでいます。日本三景の一つを味わうように眺めながら、じわじわとパークを取り戻してみたいかがでしょうか。

軍とは人の集まりである集団を意味し、今では軍が群になつて、絶景に人が群がるようになりました。かつて松島湾は、暗礁が多くあるため、外来者にとつては航行が困難な海域でした。そのため、江戸時代には伊達政宗によって暗に軍港と見なされ、階級寺を始めとした伊達家の直轄施設が暗に軍事施設として多く建設されます。現在ではこれらの施設も湾内も観光地となっています。

このように、風水が分析する風景と現実の事象が一致していて、非常に興味深いものがあります。人間の審美眼の理に適った美しい風景には、風水原理が潜んでいることが多いことがわかります。